

『一生懸命』幻の新座市議会報告第208弾!



たかむらともや

③ ワクチン神話3

最近のコロナ感染者数激減は「ウィルスのコピーエラーを修復する酵素に変異がおこったことで、増殖困難となったことが原因ではないか！？」と国立遺伝子研究所と新潟大学のチームが発表しました。

どういうことかと言うと・・・。コロナウィルスはヒトの細胞内で増殖する時に、何百という自分のコピーを作成します。しかし同時にコピーエラーも数多く発生するので、不良品も多く作成されます。

ほとんどの不良品は放っておくとウィルスとして機能できず死滅していきます。

ウィルスはこれら多数の不良品をnsp14というゲノム修復酵素を使って修復するのです。ところが、ヒト体内にある遺伝子改編酵素APOBEC（アポベック）によって、そのnsp14の設計図となる遺伝子コードが書き換えられてしまったのではないかと推測されているのです。つまり、コピーミスが修復できなくなり、ウィルスは死滅していったという訳です。

東アジアやオセアニアではこのこの遺伝子改編集酵素アポベックの活性が高い人が多いことから日本ではそれが上手くデルタ株のnsp14にヒットしたのではないか・・・と言われているのです。

その一方でワクチン接種後の死者は相変わらず増え続け、重篤な副反応に苦しむ人も激増しています。私の周りでも、副反応に悩む人たちが大勢でてきました。

厚生労働省の発表では1312の方がワクチン接種後に亡くなっています。アメリカの17619人と比べたら少ないですが、インフルエンザワクチンと比べると、滅茶苦茶多いし、取り返しのきかない副反応を考えると、「ワクチン神話」を信じる方がどうかしているという結論に達するのです。

しかし、製薬会社は3回接種、若年層の接種と更に儲けようと必死です。副反応ができるのはこれからかも知れないのに・・・。

2021年11月30日発行



11月7日（日）黒目川の川掃除をやりました。五中4期生の孫のともや君が参加しての川掃除も16年目になりました。

たかやんのプロフィール



本名たかむらともや
新宿区立西戸山中、
石神井高、北海道大
庭球部卒。小中高大と
超問題児だった。特に
小学校時代はPTAの
おばちゃん達に「あの
子とは遊んじゃダメ」と言っていた。そんな
悪ガキが何故か新設新座五中の3年4組の
担任なる。そして21年間、担任を続け退職。

カナダとアメリカでちょっと勉強して帰国。

1998年、たかやん塾を開設。現在は石神三
丁目ウェルパーク前の自宅で小中高校生達
と共に学んでいる。小さい頃、絶対にやりたく
なかった仕事は「政治家」「教師」「PTA会長」
だったのに、全て経験してしまった。

小学生の時に一番苦手だったのが「作文」と
「人前で話すこと」だったのだから、人生は
何が起こるか分からない。

写真のワンちゃんは僕の息子と同じ「そら」
です。僕が「そらーっ！」と呼ぶと、凄く喜んで
くれる「そら君」とのツーショット！！

たかやんの連絡先 自宅 042-456-8869 携帯 090-6497-5737

takayanchan@outlook.jp

〒352-0033 新座市石神3-19-32-106

市・県議会そして国会

国会中継を見ていて、ガッカリするのは答弁をする大臣がみな官僚の書いた紙を読み上げることです。記者会見での質問に対しても予め用意されていた紙を読み上げる大臣が多いですよね。あれ、頭が悪く見えるのは僕だけですかね。あれで国會議員ですからね。本当に情けないと思うのです。

前に埼玉県議会の傍聴に行つたことがあるのですが、県議会の一般質問には驚きました。全ての質問と答弁が最初から出来上がっていたのです。そう、ただ原稿を読み上げるだけの儀式みたいな議会だったのです。そういう意味では県議会が一番面白くありません。今は分かりませんが、当時の県議会は小学校の学芸会より酷かったです。

新座市議会は違います。基本が一問一答形式ですので、どうしてもガチンコになることが多いのです。

新座市長は減茶苦茶優秀ですよ。どんな質問に対しても、自分の頭で考えて、答弁してくれます。須田健治前市長も現在の並木傑市長も、頭の回転はどの大臣にも絶対に負けません。二人が国会に行つたとしても、自分の言葉で話せる頭脳を持っていますから、いい答弁をするのではないでしょうか。僕は市長与党ではありませんので、どちらかと言うと常に市長とは戦っています。その僕が言うのですから間違ひありません。

教育長の答弁も凄いです。優秀な部長たちの答弁も我々議員の質問も全て”新座市議会インターネット中継”で見ることができます。検索して、一度見てみてください。かなり面白いと思いますよ。



僕のラインの
QRコードです
駅で会う方、
これを読み取
って、ライン
してください
おまちしてい
ます。
LINE

教師のバトン2

205弾！でも紹介しましたが、twitterの教師のバトンからは、現役の先生達の”悲鳴”が聴こえています。「部活」「いじめ」「パワハラ」「職員室カースト」「モンスターペアレント」「担任」「残業」「給料」「授業」「研究発表」「市教委対応」ここには書ききれないくらいの悲鳴が聴こえてくるのです。

その一方で、この先生は”誰から””どんな”バトンを受け取ったのだろう。間違ったバトンを受け取ってしまったのではないだろうか。そういうことも多くありました。

僕自身は西戸山小学校1年～3年の担任、向後美佐子からバトンを受け取りました。そして、西戸山中学校2年～3年の担任だった河合隆慶からもバトンを受け取りました。

そして、そのバトンを教え子たちに渡してきました。美佐子先生も隆慶先生も超問題児の僕を見捨てないでくれたのです。だから、僕も誰も見捨てない教師になりました。

そのバトンを教え子たちも持ってくれている筈です。何があっても落とさずに走って欲しい。そして、そのバトンを次の世代の教師に渡して欲しい。そう思います。僕が二人の先生から受け継いだバトンは”教育は愛だ！”というバトンです。少し形は違うけれど、僕は二人の先生から、間違いなく”愛”というバトンを受け取り、今まで生きてこられたのです。

下の写真は新座五中が新設された時の職員旅行の写真です。真ん中で傘を持っているのが中村徹一郎校長。その真後ろが甲神岳右端の後ろが神宮司久子、その前が僕と小山亨です。「教育は愛だ！五中集団」です。
中村徹一郎

